

根津鋼材

須賀川に運送部設置

自社便で
鋼材輸送
顧客満足度高める

大手コイルセンターの根津鋼材（本社＝東京都荒川区、根津訓光社長）は10月1日付で、

東北事業部須賀川事業所（福島県須賀川市、永山良久所長）に運送部を設置した。物流事

業に参入し、納入先への鋼材輸送を従来の外部委託から自社便に切り替える。「少量多品種」「多頻度短納期」と顧客から求められる物流ニーズが一段と高度化する中、加工から配送まで自社一貫で手掛けることで、顧客満足度向上を図る。

運送部は、子会社の小山運輸（本社＝埼玉県八潮市）の物流ノウハウを水平展開し、小回りを利かした配送体制を構築するとともに、在庫削減、リードタイム短縮に取り組み。トラック10台を保有し、専属ドライバー10人、配車担当1人、事務担当1人の計12人体



制でスタートする。自社の社員ならではの

を減らし、環境への配慮やコスト削減にもつ

のきめ細かいサービスを提供し、セールスドライバーとして、最前線で顧客ニーズをキャッチアップ。配送後のスキット持ち帰りやリサイクル推進などで台木用の木材使用量を減らし、環境への配慮やコスト削減にもつなげる。

将来的には運送部と小山運輸に加え、蓼科事業所（長野県茅野市）でも運輸業を開始することを検討しており、福島、埼玉、長野の三力所を結び、根津グループの配送エリア広域をカバーするトライアングルを形成したい考え。